

平成21年度に実施する政策評価 ～見直しのポイント～

- 1. 政策評価をとりまく動向 ……p. 1
- 2. 見直しの柱 ……p. 2
 - (1) 達成水準・時期の明確化、アウトカム
(成果) 指標化 ……p. 3
 - (2) 個別目標体系の整理 ……p. 9
 - (3) 具体的な事務事業の選定・評価 ……p. 14
 - (4) その他の工夫 ……p. 16
- ◇ 21年度に実施する総合評価のテーマ ……p. 19

1. 政策評価をとりまく動向 (関連する指摘等)

閣議決定等

- 各府省の予算要求に当たっては、成果目標を掲げ、事後評価を十分行い得る基盤を整備する。
(平成20年6月28日 経済財政改革の基本方針2008)
- 予算の重点化・効率化を一層進めるとの観点から、政策ごとに成果目標、必要性、効率性等を明らかにし、政策評価結果を概算要求に要求・要望に適切に反映する。(平成20年7月29日 平成21年度概算要求基準)

厚労省の在り方懇

- 評価指標を可能な限り、整備水準などの数値目標(アウトプット)から施策を実施した結果として国民にもたらされる成果を計る指標(アウトカム)に見直し、当該政策が社会経済に与えるインパクトを評価すべき。
- 政策評価については、個々の事業について改善を効果的に促す。特にPDCAサイクルを実質的に機能させるため、お手盛りにならぬよう客観的かつ厳格な外部評価を定期的を実施するとともに、現在の評価手法を見直し、評価結果を公表する中で、問題の所在や課題を明確にする。そして事業改善を期限を区切って実施すべき。
(平成20年12月25日 厚生労働省の在り方に関する懇談会中間まとめ)

ムダゼロの指摘

- 各府省は、自ら所管する政策について、必要性、有効性、効率性等の観点から政策評価を行い、その結果を政策の企画立案や実施に役立てており、政策評価が無駄の削減に一層資するよう、その取組を強化すべきである。
(平成20年12月1日 指摘事項～ムダ・ゼロ政府を目指して)

総務省による点検結果

- 厚生労働省は、国民生活の安定と向上を図ることを目的として、国民の生活に密着した政策を行っていることから、目標を明らかにして政策を行うことが一層求められている。このため、目標に関し達成しようとする水準を数値化等により特定する取組の一層の推進が期待される。あわせて、アウトカムに着目した評価指標の検討が必要である。(平成20年3月28日 政策評価の点検結果 ―評価の実効性の向上に向けて―) 1

2. 見直しの柱

(1) 達成水準・時期の明確化、アウトカム（成果）指標化

達成水準・時期を明らかにするとともに、施策の成果が測れる指標に

(2) 個別目標体系の整理

政策の体系性を意識して再整理（細分化されすぎているものは統合するなど）

(3) 具体的な事務事業の選定・評価

個々の事業レベルの課題を明らかにし、改善を効果的に促す

(4) その他の工夫（評価様式の改善等）

- ① 出来事・事件への対応と評価・・・検証と国民への説明
- ② 参考統計欄の新設・・・施策動向等の参考データを整理
- ③ 特記事項欄の充実・・・国会、審議会等からの指摘を整理